

平成29年第2回定例会

一般質問

古殿町議会

平成29年第2回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
6 月 14 日	1	野 崎 喜 彦	無 所 属
	2	緑 川 栄 一	無 所 属
	3	藁 谷 直 吉	無 所 属
	4	佐 藤 弘 信	無 所 属
	5	岡 部 淳 一	日本共産党
	6	佐 川 勇 司	無 所 属

番号	質問者	質問事項	要旨
1	1 番 野崎 喜彦	1. 町民の安全確保対策について (町 長)	(1) 現在の防災行政無線の整備年月と改修経緯は。また、現在のアナログ式からデジタル式へ移行する計画年度はいつか。 (2) 現在の防災行政無線システムで、全世帯、全町民への緊急時の情報周知は万全か。 (3) 防災行政無線システムで、全国瞬時警報システム(J-ALE RT)の受信・発信に支障はないか。また、周知のための非常通報伝達訓練や避難訓練等を実施すべきと思うが考えは。 (4) 地域防災計画に盛り込まれている地区ごとの避難場所や避難経路、危険箇所を明示した災害情報看板(防災マップ)を街頭や公共施設に設置すべきと思うが考えは。 (5) 豪雪時なども含めた災害発生時には、停電となる可能性が高く、ラジオ等による情報収集が有効となるが、当町は地理的環境から受信困難地域や不感地帯が多い。それらを解消するための方策を検討すべきと思うが考えは。
		2. 学校における食育の推進と健康管理について (町 長・教育長)	(1) 「食育基本法」が定められていますが、当町の「食育推進計画」などの策定はあるか。 (2) 朝食欠食は、学力と体育等に深い関わりがあると言われていますが、現状把握はしているか。また、その指導などした経緯はあるか。 (3) 現行の学校給食体制に対する保護者からの要望等は把握しているか。 (4) 給食のメニューや内容等について児童・生徒の要望はどのようなものがあるのか。また、どのように反映されるのか。されているのか。 (5) 学校給食の材料として、当町の食材はどのようなものが使われ、その割合はどのくらいか。
2	3 番 緑川 栄一	1. 森林環境整備と林業の振興計画は (町 長)	(1) 林道及び路網の整備計画は。 (2) 国・県の森林環境整備事業計画は。 (3) 間伐等の事業計画と進行状況は。 (4) 公設市場等の設置計画は。

番号	質問者	質問事項	要旨
		2. 住宅建設支援事業は (町長)	(1) 町内在住者が新築又、増築に対する補助制度の新設は。 (2) 町内在住者への土地取得に対する補助制度の新設は。 (3) 町内在住者への住宅地造成等に対する補助制度の新設は。
3	2番 藁谷 直吉	1. 町の活性化と高齢者対策について (町長・教育長)	(1) ふるどの桜街道を、知名度向上のためのネームバリューに変更すべきであると思うがどうか。 (2) 観光キャラクター「やぶさめくん」を、特許庁に商標と意匠を登録して保護すべきであると思うがどうか。 (3) 町内飲食店で開催する同窓会で「大豆ミート加工品」を使用した場合、補助すべきであると思うがどうか。 (4) 役場のロビーとおふくろ駅付近に、高齢者のコミュニケーション場の設置を検討すべきと思うがどうか。 (5) 高齢化のために住民票等申請記載台を椅子で記帳できるように改善、また西側通路段差を解消すべきと思うがどうか。 (6) 古殿町郷土文化保存伝習施設に保存してある16ミリフィルム、ビデオテープなどを後世に伝えるために新しい記録媒体で保存すべきと思うがどうか。
4	5番 佐藤 弘信	1. 6次化商品開発と大豆ミートについて (町長)	(1) 約1カ月間の大豆ミートフェアでどの位の人が利用したか。 (2) 参加・協力していただいた飲食店の評価は把握しているか。 (3) 大豆耕作者へのサポートをどのようにしていくのか。 (4) 今後の大豆ミートの取り組みと課題はなにか。 (5) 今後大豆ミートの他に6次化商品の開発を計画していく考えはあるのか。

番号	質問者	質問事項	要旨
		2. 町民からの陳情、要望の取り扱いについて (町長)	(1) 28年度に陳情書・要望書は何件くらい提出されているのか。 (2) 集計するとどのような内容のものが多いのか。 (3) 提出された件について現場等の確認、申請者からの聞き取りを行っているのか。 (4) 提出された件について、どのような手順を踏んで審査されるのか。 (5) 提出された件について、申請者や行政区長にその後の経過を説明しているか。
5	8番 岡部 淳一	1. 国民健康保険事業広域化について (町長)	(1) 県との協議は行われたのか。県から伝えられた広域化の概要は。 (2) 保険者が町でなく県になると町の事務量は大幅に軽減するのか。 (3) 保険料が試算されていると思うが結果は示されたのか。 (4) 保険料が平準化されるといわれているのが、高くなった場合はどう対処するのか。また県に意見を言う事は出来るのか。 (5) 国保基金は不要になると思うが、現在ある基金の使い方はどうなるのか。
		2. 簡易水道事業と飲料水確保対策の在り方 (町長)	(1) いわき石川線の改良工事に併せた本管の布設替えを行うとしている点と、当面の3年間は集中していわき石川線の本管布設替えを行うとしていることは、別事業としての取り組みか。 (2) 新規のエリア拡大は行わないとしているが、10年間の計画期間の中で、要望と必要性が出た場合はどう対処するのか。 (3) 平成28・29年度に飲料水確保申請と補助該当は何件あったのか。 (4) 簡易水道エリア内からの飲料水に関する相談はあつたか。どう対処したのか。

番号	質問者	質問事項	要旨
		3. 古殿町にとっての教育環境と支援の在り方 (町長・教育長)	(1) 県立石川高校存続問題での状況把握は。 (2) 管内各町村の捉え方及び町村会での協議は。 (3) 町としての考え方と対応の仕方は。 (4) この状況下でこそ通学費などの助成をすべきではないか。
		4. 予算編成の在り方と説明責任 (町長)	(1) 3月議会当初予算審議の中で、観光施設改修工事予算の中に、全く違う法面工事の予算が含まれていたが、なぜこのような予算編成となったのか。
6	11番 佐川 勇司	1. ドローンの活用について (町長)	(1) 町観光資源の情報発信等に今後ドローンの活用をどのように考えますか。 (2) 農薬散布・農作物の成長管理・農耕地・山林の調査・測量などの活用の取り組みは。 (3) 日本獣友会は鳥獣の生育調査をドローン活用で動き出しています。わが町もイノシシ調査・捕獲、サギやカワウ対策（巣に偽卵を置く）にドローンの活用はどうか。 (4) 危険個所の調査・測量、また、自然災害・緊急時の確認・調査・救助へのドローン活用は。